

平成29年度事業計画

【基本計画】

平成29年1月20日に閣議決定された政府経済見通しでは、平成29年度は、雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環が進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれ、その結果、平成29年度の実質GDP成長率は1.5%程度、名目GDP成長率は2.5%程度と見込まれるとしています。

また、同日行われた首相の施政方針演説においても、アベノミクスの3本の矢によって、この4年間で名目GDPは44兆円の増加、9%成長し、中小・小規模事業者の倒産は26年ぶりの低水準、3年連続のベースアップ実現、全ての都道府県で有効求人倍率が1倍を超えるなど、経済の好循環が生まれており、この景気回復の風を全国津々浦々の中小・小規模事業者届け、経済の好循環を更に前に進め、引き続き、経済再生と財政再建、社会保障改革の三つを同時に実現しながら、1億総活躍の未来を切り拓いていくと述べられています。

厚生労働省の平成29年度予算案では、シルバー人材センター補助金について、労働保険特別会計（雇用勘定）で16億円増の69億円、一般会計68億円と合わせると137億円、したがって事業仕分け前の136億円を取り戻し、かつ1億円を上乗せした予算案となっており、シルバー人材センターを大きく支援し、特にシルバー派遣事業を強く推進する内容となっています。

そうした中、これまで、当センターにおいては、平成25年度にコンプライアンスの観点から業務を精査し派遣に切り替えたものを含め、派遣事業を拡充してきましたが、引き続き積極的に派遣事業に取り組み、就業機会の確保とともにセンターの安定経営のため派遣契約の比率を更に高めていく必要があります。現在、シルバー派遣事業の契約高は県内上位ですが、平成29年度につきましても、これまで以上に派遣事業を推進します。

一方、コンプライアンスの観点から業務を精査した結果、請負契約が減少しました。また、市から委託されていた市営自転車駐車場14か所の指定管理が平成28年度をもって終了となります。そうしたことから、派遣事業とともに請負についても就業開拓に力を入れ、就業機会の確保に努めます。

なお、耐震性を理由に、平成29年度から不特定多数である一般市民の市役所旧庁舎への入場が制限されたことから、旧庁舎内での学習教室等の開催が不可能になりました。今後とも独自事業の充実による就業機会の確保に努めてまいります。

旧庁舎からの事務所の移転についても、市の協力を得ながら準備を進めます。

市から指定管理者を委託されている「老人憩の家」4荘については、より一層安全で安心して利用してもらえる魅力ある施設を目指して、リピーターを増やすとともに新たな利用者の獲得に努めます。

次に、毎年理事長が掲げている年度スローガンは、立ちほだかる壁を乗り越え、シルバーの未来を切り拓いていくのに、組織を一層堅固なものにするため、会員相互の**「信頼と尊敬」**に決まりました。

センターは、このスローガンの目的達成のため、様々な場所で様々な機会を捉えて会員に周知します。

センターは、笑顔で就業して笑顔で帰宅するという日常が如何に大切なことかを考え、就業中の事故を限りなくゼロに近づけるため安全就業に関する講習会や研修会を引き続き実施し、就業先を訪問して事故ゼロ運動の強化を図っていきます。会員のために何を思い、

何をしなくてはならないかを常に考えていきます。商工会議所や社会福祉協議会等の地域との繋がりを強化しつつ、新たなことにも積極的にチャレンジしていきます。

そして、多様化する顧客のニーズに対応した就業の確保に努めるため、次の事業を目標に向かって進めます。

【実施計画】

1. 本年度の目標契約高 **6億8千万円**
(内、労働派遣事業 7千万円)

2. 本年度の目標就業率 **75%**

3. 組織の充実

理事7人が各委員会（総務委員会、会員活性委員会、地区活動委員会、広報委員会、就業推進委員会、職群班委員会、安全推進委員会）を受け持ち、各所管の課題に取り組みます。

そして、この7人の理事に副理事長が加わった事業推進委員会において、各委員会の課題を持ち寄り、意見を交換します。

事業推進委員会で情報共有化と共通認識を図ったうえ、理事会でセンターの施策として事業化に向けた協議を行います。

☆安全就業の徹底

センターでは、「安全は全てに優先する」を原則に、事故ゼロを目指し、安全就業に向けた対策の強化を図ります。

安全は、会員一人ひとりの意識にかかっています。

自己啓発を促すため、安全標語の募集、7月の安全月間における安全宣言、月初めの安全週間の設定、就業先の実態調査及び安全巡回、就業ハンドブックの活用、安全研修、健康セミナーの実施により会員の意識高揚に努めます。

☆センター事務所移転

平成30年3月末日までに事務所の移転が予定されていますが、会員と発注者ニーズを第一に考え、移転先を模索、決定しなければなりません。

市の担当所管の協力のもと、サービスの向上に向けて協議してまいります。

☆就業機会の開拓と派遣事業の推進並びに職群班体制確立

請負業務にこだわることなく派遣事業を積極的に推進し、請負契約と派遣契約それぞれの適性に応じた就業開拓を行っていきます。

未就業者対策として、地区ごとに出張就業相談会を実施し、一人でも多くの会員が就業できるよう努め、就業率の向上と公平な就業機会の提供に努めます。

また、会員が持ち合わせた豊かな技能や経験を活かしていくため、会員データベースの活用による職群班編制を充実させ、就業機会の増加と就業率の向上に努めます。

☆設立40周年記念に向けて

平成30年10月に設立40周年を迎えます。

長い年月の歴史と実績の成果として、記念誌の発行と記念イベント計画を推進します。

☆広報・ホームページの充実

広報紙「つどいの樹」とホームページは、会員に所沢シルバーの現状や活動方針を伝

える、極めて重要な手段です。

会員の皆様が「おやっ」と手に取りたくなる広報紙、「アクセスしてみようかな」と興味を持っていただけるホームページを提供できるよう努めます。

また、広報紙、ホームページは会員だけでなく、シルバーに関心を寄せていただいている行政や企業・団体、一般市民にも開かれています。そうした外の目を意識した紙面づくりにも取り組みます。

☆地区活動と地域連携

センターには、市の行政区と同じ11の地区組織があり、地区活動委員会の使命として効果的な活動を行います。

会員への情報伝達、会員相互の懇親、会員増強・就業機会開拓の意識向上、公民館活動や自治会活動に積極的な参画交流など、地域との連携を図りながら活発な地区活動を展開します。

☆研修・講演会の充実

発注者の様々な就業依頼に応えるため、職群班ごとにマニュアルの作成や研修、新入会員への心構え研修等を行い、会員の資質向上に努めます。

また、センターの普及啓発とともに、会員との交流と情報交換の場として、地域の誰もが自由に参加ができる公開講演会を引き続き実施します。

☆市から受託している指定管理業務

「老人憩の家」4荘については、利用者が順調に伸びており、リピーターの利用も多くあり、好評を得ています。更なる利用者の獲得に努めます。

☆独自事業

今年度より旧庁舎の耐震問題により各種教室類が休止(廃止)となりました。

しかしながら、独自事業の推進をやめるわけにはいきません。一極集中ではなく各地区での分散型の独自事業について検討してまいります。

また、営農事業、シルバーショップ、イベント班等の積極的な運営に努め、就業機会を拡大していきます。

☆その他

会員の親睦団体である悠和会は、会員同士の横のつながりに、なくてはならない団体です。

また、みまもりネットワークを推進する一員として会員活動で気付いた地域の情報は、地域の包括支援センターに報告すると同時に地域の自治会組織とも連携を図っていきます。